



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL	03-6369-8664)

(訂正・数値データ訂正) 「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成29年8月8日付で公表しました「平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高橋 新一 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	35,494	3.6	1,255	△46.4	1,222	△41.5	850	△45.6
29年3月期第1四半期	34,258	△2.7	2,340	150.1	2,090	232.0	1,562	984.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 25百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △2,003百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	32.91	32.59
29年3月期第1四半期	60.46	60.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	133,687	61,769	46.1
29年3月期	135,044	62,053	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 61,616百万円 29年3月期 61,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	12.00	—	14.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,800	4.2	3,300	△0.8	3,000	5.0	2,100	1.0	81.25
通期	142,000	3.9	7,000	1.3	6,400	2.3	4,400	△4.8	170.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	26,027,720株	29年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	159,952株	29年3月期	182,502株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	25,848,678株	29年3月期1Q	25,846,078株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きがみられ、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。アメリカでは景気は着実に回復が続いており、アジアでは中国の各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられ、インドでは内需を中心に景気が緩やかに回復していることなど、世界の景気は緩やかに回復しております。

このような環境の中で、当社グループは1618中期経営方針に基づいた施策展開を着実に進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績については、売上高35,494百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益1,255百万円(前年同四半期比46.4%減)、経常利益1,222百万円(前年同四半期比41.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益850百万円(前年同四半期比45.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおける前年の熊本地震による生産減の反動や北米市場向け輸出の好調な推移により、当社の受注量が増加し、売上高は16,852百万円(前年同四半期比13.6%増)となりました。収益面においては、受注量増加の一方で価格改定等の影響、減価償却費及び労務費の増加により、セグメント利益は404百万円(前年同四半期比44.3%減)となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米自動車市場は、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ここ数年続いた好調な販売に減速感が生じています。米国ではこの市場の減速に加えダウンサイジングによる受注量減少等の影響を受けるなかで、引き続き生産性の改善活動を続けてきております。一方のメキシコでは、主要顧客からの受注量増加が続いています。こうした結果、北米セグメントでの売上高は10,443百万円(前年同四半期比5.4%減)となり、収益面においては、米国での受注量の減少等を受け、セグメント利益は381百万円(前年同四半期比63.0%減)となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、昨年末で小型車に対する減税幅が縮小したことにより、小型乗用車の販売に鈍化が見られる一方で、SUVの販売が拡大しており、当社においても関係する部品の受注量が増加しました。インドでは、自動車市場が好調を維持している中で、当社の受注量も持ち直しつつあります。これらの背景の下、為替換算の影響等があったものの、アジアでの売上高は6,655百万円(前年同四半期比3.5%増)、セグメント利益は364百万円(前年同四半期比4.7%減)となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期と比べ増加しましたが、アルミ地金市況変動により販売価格が弱含みで推移し、売上高は1,107百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。収益面においては原価低減活動を推進していますが、燃料費の価格上昇等の影響によりセグメント利益は56百万円(前年同四半期比37.2%減)となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が前年同四半期に比べ減少し、売上高は435百万円(前年同四半期比47.7%減)となりました。収益面においては、主に減収による影響等により、セグメント利益は53百万円(前年同四半期比11.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,356百万円減少して133,687百万円となりました。主な要因は、売上債権の減少510百万円、円高基調にある為替換算影響等による有形固定資産の減少1,363百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,072百万円減少して71,918百万円となりました。主な要因は、借入金の減少2,546百万円、未払法人税の増加368百万円、賞与引当金の増加745百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ284百万円減少して61,769百万円となりました。主な要因は、円高による為替換算調整勘定の減少948百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加519百万円、その他有価証券評価差額金の増加109百万円によるものであります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末45.8%から46.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100	3,574
受取手形及び売掛金	23,015	22,426
電子記録債権	2,158	2,236
商品及び製品	2,801	2,874
仕掛品	3,994	4,011
原材料及び貯蔵品	3,344	3,421
その他	2,862	3,495
貸倒引当金	△1	△27
流動資産合計	42,275	42,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,455	15,035
機械装置及び運搬具(純額)	45,480	44,578
土地	5,199	5,199
建設仮勘定	8,051	7,737
その他(純額)	7,960	8,233
有形固定資産合計	82,146	80,783
無形固定資産	1,535	1,580
投資その他の資産		
投資有価証券	7,363	7,521
その他	1,722	1,815
貸倒引当金	△0	△25
投資その他の資産合計	9,086	9,311
固定資産合計	92,768	91,675
資産合計	135,044	133,687
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,903	12,644
電子記録債務	6,601	6,877
短期借入金	837	513
1年内返済予定の長期借入金	10,608	10,369
未払法人税等	899	1,268
賞与引当金	1,644	2,390
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	73	233
その他	8,277	9,043
流動負債合計	41,877	43,340
固定負債		
長期借入金	21,359	19,376
長期未払金	1,066	1,064
退職給付に係る負債	2,919	2,953
その他	5,767	5,183
固定負債合計	31,112	28,577
負債合計	72,990	71,918

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>37,463</u>	<u>37,983</u>
自己株式	△272	△238
株主資本合計	<u>54,311</u>	<u>54,864</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,728	3,838
為替換算調整勘定	<u>4,327</u>	<u>3,379</u>
退職給付に係る調整累計額	△479	△465
その他の包括利益累計額合計	<u>7,576</u>	<u>6,751</u>
新株予約権	165	152
純資産合計	<u>62,053</u>	<u>61,769</u>
負債純資産合計	<u>135,044</u>	<u>133,687</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	34,258	35,494
売上原価	29,218	31,129
売上総利益	5,040	4,365
販売費及び一般管理費	2,699	3,110
営業利益	2,340	1,255
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	59	61
為替差益	—	30
スクラップ売却益	23	26
その他	78	33
営業外収益合計	166	156
営業外費用		
支払利息	250	177
為替差損	122	—
その他	42	12
営業外費用合計	416	189
経常利益	2,090	1,222
特別利益		
固定資産売却益	2	3
補助金収入	19	5
保険差益	—	48
特別利益合計	21	57
特別損失		
固定資産除売却損	37	42
製品保証費用	—	162
特別損失合計	37	204
税金等調整前四半期純利益	2,075	1,075
法人税、住民税及び事業税	737	1,168
法人税等調整額	<u>△224</u>	<u>△943</u>
法人税等合計	<u>512</u>	<u>224</u>
四半期純利益	<u>1,562</u>	<u>850</u>
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>1,562</u>	<u>850</u>

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,562	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△528	109
為替換算調整勘定	△3,055	△948
退職給付に係る調整額	17	14
その他の包括利益合計	△3,566	△824
四半期包括利益	△2,003	25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,003	25
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	14,835	11,035	6,432	1,123	831	34,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	815	2	351	1,080	—	2,250
計	15,650	11,038	6,783	2,204	831	36,509
セグメント利益	725	1,029	382	90	59	2,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,287
セグメント間取引消去	53
四半期連結損益計算書の営業利益	2,340

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	16,852	10,443	6,655	1,107	435	35,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,246	—	365	1,109	7	2,728
計	18,099	10,443	7,021	2,216	442	38,222
セグメント利益	404	381	364	56	53	1,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,259
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。